

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0905
施設名	ChaCha Children Oizumi
施設所在地	東京都練馬区西大泉5-30-13
法人名	社会福祉法人ChaCha Children & Co.

1. 活動のテーマ

<テーマ>

・鳥と友だちになるために

<テーマの設定理由>

・園庭や散歩先で出会う様々な鳥に興味を持ち、鳴き声を真似してみるなど“鳥と仲良くなるために”行動を起こす姿が見られた。これらの興味関心をきっかけに、自分たちの街で、人や、動植物と共によりよく暮らしていく為の方法を探求していけるのではないかと考えた。

2. 活動スケジュール

4月:鳥とコミュニケーションを取る為にバードコールを作る。園庭横にヒヨドリの巣や卵との出会う。
5月:ヒヨドリの巣に親鳥がいなくなったことから、親鳥を巣へ呼ぶ為に行動を起こす(葉っぱの壁作り、鳥のなりきり衣装制作)
6月～7月:卵を守る為、カラスを追い払うカカシ作り(ICT機器活用)、カラスの為の居場所を作り、共に暮らす為に試行錯誤していく。
8月:人も、鳥もカラスもみんなを大切にしようとして行動したアートパネル作り(ICT機器活用)
9月:鳥と仲良くする為に大切だと思う気づきを、地域の方や保護者に伝えていく。(マルシェ)
10月:鳥が人の言葉を理解できないという気づきから、鳥の言葉を考え、鳥に伝えたい想いやメッセージをバードコールで伝えていく。
11月:人も鳥も花も大切にしたいという思いを看板にしていく。(ICT機器活用)
12月:自分たちの経験を元に、発表会で鳥との共生に必要なと感じた視点を表現し、伝えていく。
1月:人も鳥も楽しめるカフェ“鳥あんずカフェ”のコーナー作りを行う。
2月、3月:鳥の暮らしを考え、ゴミのない街をつくる為の探求を行う。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・ライトテーブル、マテリアルを用いたコーナー
- ・ICT機器を用いた表現活動(看板作り、カカシ作り)
- ・iPadを用いた写真撮影や、調べたり、知る探求活動
- ・モバイルディスプレイやプロジェクターを使った活動共有

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

興味のある事象を探求し、より深めていく為のツールとして、知る、調べる、聞く、描く、編集するなどの活動にICT機器を活用し、「鳥と仲良くなるために」をキーワードに、子どもたちが自ら行動できる環境構成や、活動内容を意識した。2. 活動スケジュール参照

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

iPadを使用し、描いた鳥の絵を編集した際には、「色々な種類の鳥が、公園で仲良く遊んでいるところにしよう」「僕たちも公園で遊ぶから、鳥もみんなも同じだね」と、子どもたちが「みんなが大切」という価値観を、表現活動や対話の中で、少しずつ築いていく姿が見られた。

ドキュメンテーション別紙参照

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・「鳥と仲良くなりたい」という子どもたちの想いは、「人も鳥も大切にしたい」という思いへと広がり、それらの子どもたちの価値観を地域社会へと伝えていくことへと繋がっていった。保育者が、子どもたちの考えに共鳴し、子どもたちの考える世界に同じ目線で入り込むことで、活動や学びの連続性が生まれていくのだと気づいた。また、子どもたちが表現する為のツールを画材だけでなく、ICTを様々なカタチで活用することで、子どもの表現の可能性がより深まるのだと、この実践を通して感じた。

鳥と卵と私の暮らし 自分たちになにができる？

ChaCha Children Oizumi
あんずグループ



「カーカーカー！」

散歩へ行くとき、鳥の姿や鳴き声に注目していた子どもたち。道中、電柱にカラスがとまっているのを見つけたMちゃんは、「近くに飛んないかな」と近くにいる友だちに伝えると、

突然、「カーカーカー！」と、大きな声で、カラスの鳴き声を真似始めました。

そんなMちゃんの声を聞いて、周りにいた友だちも一緒に「カーカーカー」と呼んでみたり、手を羽のようにバタバタと動き始めます。

散歩道で、出会った鳥とのコミュニケーションを、自分なりの方法で見つけ出していました。



「バードコール作りに必要な木は？」

鳥の鳴き声ができる道具「バードコール」をKちゃんが紹介してくれたことをきっかけに、「これで鳥と仲良くなれるかもしれない」と、自分たちもバードコールを作ることを決めました。さっそく、散歩先で、木を探しに行きました。

「ネジを入れるから大きい方がいいよね」「柔らかいより、硬い方がいいかも」とバードコールに向いている木は何かを考えます。

実際に木に触れてみると、「硬いものを木を当ててみよう」「あ！カンカンなるから硬いよ！」と硬い木を見つけ出したり、「手の丸と同じくらいがいいんじゃない？」と自分の手と見比べ、大きさを確認したりして、木材を識別していききました。



「お話しできたよ」

自分たちのバードコールが完成しました。「鳥と仲良くなるため」に、鳥が暮らしている公園へと向かいます。

鳥の音が聞こえると、ひっそりと木に隠れ、バードコールを鳴らします。

すると、「チュンチュン」との音が返ってきました。「お腹空いたっていいのかな？」「一緒に遊ぶのいいよだって」と鳥から返事を想像しながら、鳴声が返ってきたことに喜びを感じていた子どもたち。

何度も何度も、バードコールのボルトをねじっては、音を鳴らし続けていました。



「卵のママに、戻ってきてほしい」

ChaChaの玄関先で見つけたヒヨドリの巣。中に卵があることを知り、日々観察をしていると、母鳥が帰ってきていないことに気づきました。「中の卵は大丈夫かな？」「作ったキコちゃん(バードコール)でママを呼んでみようよ」と、子どもたちは鳥の巣へ行って、バードコールを鳴らします。

しかし鳥の声は聞こえません。

「卵を産めないで産まれないよ」「卵の中で泣いてるかな？」「帰って来なかったら卵をタオルに包んで温めよう」と、巣に近づくたびに、考えていました。



隠れてそーっと…

母鳥に怖がられないように、自分たちが隠れて、近づいたための「葉っぱの壁」が完成しました。

「葉っぱの後ろに小さく隠れるよ」「静かにそーっと行くこう」とみんなて声掛けし、巣へ近づくとバードコールを鳴らしてみます。やはり鳥の声は聞こえません。

するとKくんは「あ！鳥は飛んでから、上から見えるのかも」と思い付いたように伝えると、「壁は、前だけじゃなくて上も横も全部必要だ」

自分たちで考え、試したことを更に工夫を重ねていきます。



「鳥になったらいいんじゃない？」

母鳥に卵のもとへ帰ってきてもらうためのもう一つの作戦。

作ったくちばしをつけて手をバタバタさせながら鳥の近くに近づきます。そしてバードコールを鳴らすと、

「ビビビッ」と鳥の音が聞こえてきました。「あ！鳥の音が聞こえるよ！」とKくんがみんなに伝え、巣の様子を確認すると、母鳥のひよどりの姿が。

「卵のママが帰ってきてくれたんだ！」「自分たちが鳥になったら仲間だと思ったのかな？」「明るい色にしたからカラスが気付きかも」。カラスの特徴にも注目しながら色を決めていきます。

完成すると、慎重にヒヨドリの巣の近くへ滑り台とお家を設置しました。

「黄色いカカシを飾るのは、カラスがびっくりしちゃうから、やめようよ」その言葉に、みんなが納得していました。



卵を守るためのカカシ作り

ヒヨドリの巣を日々観察していく中で、いくつかの卵が割れていることに気づきました。

「食べられたのかもしれない」「卵を食べたのは誰かを考えていくとカラスが食べたのではないかな」という声が聞こえてきました。

そこで卵を守るために、カラスの苦手なものをipadを使って調べると、「黄色いカカシ」「カカシが苦手」とあることを知っていきます。

「黄色い洋服のカカシがあれば、卵を守れるよ」「カラスが驚いて逃げていくはず」

卵を守るための行動が始まっています。



カラスは僕たちと一緒に？

カラスについてより深く知っていくために、様々な情報を調べていたNくん。「言葉が話さず」「滑り台などで遊ぶこと」「肉などのご飯を食べること」をみんなに伝えます。

「あれ？遊んだり、お話ししたり、私たちと似てるところがある」とカラスとの共通点に気が付いたKちゃん。

「卵は？飯の時食べるよね」とSくんもカラスとの共通点に気が付きました。

「カラスのための場所を作ろうよ」「卵より美味しいご飯をあげたい！そうしたら卵も守れるよ」

黄色いカカシで追い払うのではなく、カラスのことをよりよく考えた対話が広がりました。



カラスのための居場所を

カラスのための「滑り台」と「お家」を作ることに決めた子どもたち。「黄色はカラスの嫌いな色だから使わない」「明るい色にしたからカラスが気付きかも」。カラスの特徴にも注目しながら色を決めていきます。

完成すると、慎重にヒヨドリの巣の近くへ滑り台とお家を設置しました。

「黄色いカカシを飾るのは、カラスがびっくりしちゃうから、やめようよ」その言葉に、みんなが納得していました。

よりよく理解しようと思う気持ちが
僕たちの原動力になる

2025年度 園テーマ
暮らしまるごと暮らしごと
～今日を語ろう～

～ 私たちの価値観を築く～ [みんな大切みんな友だち]

ChaCha Children Oizumi
あんずグループ



「仲良くなれますように」

「みんなにも鳥と仲良くなりたい」
「鳥とお話出来ることを知ってほしい」
と一つ一つに想いを込めたバードコール。
「バードコールを鳴らすとキュキュって鳥の声が聞こえますよ」
「鳴らすと鳥さんからお返事がえってきましたよ」
「鳥と遊ぼうって話しましたよ」
「鳥のこと、自分たちの経験、伝えたい想い」
それぞれの想いをChaChaマルシェを通して様々な方に届けました。



「鳥も公園で遊ぶから、みんなと一緒に」

「鳥も、カラスも、人も、みんなが大切だよって伝えたい」
そんな想いから、ChaChaマルシェで商品を届けることにしました。
「Mのおうちに大きい絵が飾ってるから、飾れる絵だったら、みんなに伝わるかもしれない」
「鳥も人みたいに、公園で遊ぶから、鳥たちが遊んでいる絵にしたら、人も鳥も一緒に遊んでいけるよ」
毎日長い時間をかけて、話し合った末に、完成のイメージが、チーム全体に広がっていききました。
描いた鳥たちの絵や、マッピングで作った道具の素材をスキャンし、タブレットで編集して、「みんな大切みんな友だち」アートパネルが完成しました。



鳥の言葉で伝えたい

ChaChaマルシェを終えると、「鳥たちにありがとうを伝えたい」と話していたYちゃん。
そこで「鳥たちに伝える言葉は？」「どうしたら伝わる？」を考えていくことにしました。
「ありがとうを伝えたい」
「ChaChaフェスティバルに来て欲しいよね」
「園庭のみかんととき食べてほしいな」
「キコちゃん（バードコール）で伝えよう」
と様々な言葉が聞こえてきました。
そして実際に鳥のいる公園へ行き、バードコールを使い、「キュキュキュキュ（ありがとう）」
自分たちの想いを鳥に伝えました。



鳥も来れる「とりあんずカフェ」

おまごこコーナーが新たにフルーツ屋さんへ、そこでコーナーの名前をみんなで作ることにしました。
「鳥も食べに来て欲しいな」Nくん言葉聞いて
「鳥も食べに来ていいことが分かるようにしよう」
「とり」って名前にいれたら？と様々な声が聞こえてきました。
みんな話をする中で「とりあんずカフェ」に決定。
また「鳥の飾りも付いたら鳥さんも食べに来ていいのわかるかも」という声も、「ヒヨドリやムクドリなどの鳥の好きな果物」を飾ることで鳥もみんなも食べに来ることの出来る場所になりました。



私たちの届けたい想い

ChaChaフェスティバルではお花や鳥などになりきりながら
「鳥と仲良くなるためにバードコール作ったよ」
「カラスのために滑り台とお家作ったよね」
「カラスにもみんなと同じところがあるって伝えたい」
「鳥のこととみんなに知ってもらえるといいな」
と花や鳥のこと、自分たちの経験、鳥への想いの変化について届けたいです。
「人も花も 鳥もカラスも みんな大切 みんな友だち」
この言葉には「みんなを大切にしたい みんなで楽しく仲良く過ごしたい」というあんずグループの想いが込められています。



自分の抱負とみんなの抱負

あんずグループの絵馬に掲げる抱負を、みんなで作ることにしました。
「僕はバスケを頑張りたい」
「自転車に乗れるようになりたい」
自分の抱負を堂々と伝えていた子どもたち。
あんずグループで、大事にしたいことって何だろう。
「勉強しなきゃいけないかな？」
「それは、お願いすることじゃない？」
グループみんなの意見がなかなかまとまりません。
すると、
「みんなを大切にできますように」にしたいとく。
なんてそう思ったの？
「人も、鳥たちも、みんなをみんなが大切にしたいから」
そんなくんとくんにグループみんなが賛同していました。



綺麗になるのはね...

鳥の役割や鳥と自然の関わりについて調べていく中で
「鳥がゴミを食べたりしてくれているから街がきれいになるんだって」ということを知ったKちゃん。
「鳥がいるから綺麗になるけど、小さなごみは食べたら倒れちゃうかもよ？」
「ゴミ箱に捨ててって伝えなきゃ」
「そしたら鳥もみんなも嬉しいからね」
鳥の役割を知ったことでより鳥を大切にしようという気持ちが強まり、「みんなが鳥を大切にしたい」という想いを深めました。



鳥と人と街のために

「鳥が間違えてゴミを食べないように拾いにいきたい」
「鳥のために」というあんずグループの想いからChaChaの周りの道や公園にゴミ拾いにいきました。
「お菓子のゴミとか小さなゴミがたくさん落ちてね」
「道に捨てる人いっぱいいるのかな？」
ゴミ拾いに行ったことで様々なことに気が付きます。
「みんなにゴミを捨てないでって伝えたい」
「ゴミがなかったら鳥もみんなも嬉しいよね」
鳥のこと、友だちのこと、地域のこと、様々な人を大切に想う気持ちが広がっていききました。



想いよ、届け

「鳥のためにゴミを捨てないで」
あんずグループの想いを込めて鳥のチラシを作りました。
「鳥は悪い虫を食べてご飯を守っていますよ」
「鳥の為にみんなゴミを捨ててください」
鳥の役割について、自分たちの想いを伝えていきます。
「自分ごと」から「みんなごと」へ。
自分たちの想いはどんどんと広がっていきます。

“鳥も人も大切にしたい”
その想いを、もっとたくさんの人に届けたい

2025年度 園テーマ
暮らしまるごと暮らしごと
～今日を語ろう～